

# すいさん山形

No. 344

平成31年 / 1 月号

山形県漁業協同組合  
広報誌

漁民と手をつなぐ広報誌

漁船リース事業  
新造船

# 嶺神丸進水！！

広域浜プランに基づき推進している「浜の担い手漁船リース事業」を活用した「嶺神丸」は、石川県七尾市にある近藤造船所にて進水式を終え、駆けつけた地元の人々や園児達から盛大な歓迎を受けながら12月3日に堅吾沢港へ入港しました。全長19m、大漁旗をなびかせる雄大な「嶺神丸」の姿が見えると「ワッ！」と歓声が上がります。「おっかしいねえ！」「かつこいいい！」と皆、大興奮の様子でした。今後の伊関さんの大漁満足と航海安全を御祈願いたします。

「嶺神丸」は、石川県七尾市にある近藤造船所

にて進水式を終え、駆けつけた地元の人々や園児達から盛大な歓迎を受けながら12月3日に堅吾沢港へ入港しました。全長19m、

大漁旗をなびかせる雄大な「嶺神丸」の姿が見えると「ワッ！」と歓声が上がります。「おっかしいねえ！」「かつこいいい！」と皆、大興奮

の様子でした。今後の伊関さんの大漁満足と航海安全を御祈願いたします。







# 新年のご挨拶

山形県漁業協同組合

代表理事組合長 本間 昭志

新年 明けましておめでとうございませう。

平成三十一年の年頭にあたり、組合員の皆様、役員ならびに水産関係団体の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年が皆様方にとって、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、常日頃からの当組合及び水産関係団体の事業推進に格別のご支援・ご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のわが国経済は、当初、雇用の改善が進展し、個人消費の持ち直しが見られ緩やかな回復が続いておりましたが、全国各地で相次いだ大規模な自然災害により、経済は一時的に押し下げられました。その後は各種緊急対策の効果により収束に向かうとともに、世界経済の拡大と設備投資活発化等が原動力となり、経済はふ

たたび緩やかな回復に向かっているところとす。

一方、水産業を取り巻く環境は、燃油の高騰、漁業資源の減少、漁業就業の高齢化・後継者不足による漁業生産力の低下に加え、大和堆などにおける外国漁船による違法操業や漁獲圧等かつてない危機に直面しております。

特に、十月以降大きな問題となったおびただしい数の北朝鮮漁船による我が国経済水域での違法操業に対しては、国・県に対し、強力な取締りと速やかな排除を強く要請したところであります。

その後、沈静化には向かいましたが、年々違法性が悪質化しており、今後とも国に対し毅然とした姿勢と対応を強く求めて参る所存であります。

こうした中で、昨年六月、水産政策の改革の方向性が公表されて以降、浜からのさまざまな意見が

ある中で、全漁連が中心となり、国との協議が進められてきました。が、最終的にJFグループとして当該改革案を受け入れるとの判断がなされ、十二月八日に漁業法等の改正法案が可決・成立したところとあります。

約七十年ぶりとなる大改正であり、漁業権制度を見直しし、企業の参入を可能としたほか、乱獲防止のための資源管理を強化するとしております。

特に、漁業権制度に関し、共同漁業権は従前どおり漁協に免許されることとされましたが、その他の漁業権については、漁協が「適切かつ有効に活用している」場合に限って、漁協が漁業権を継続できるとされました。

これについては、法案レベルでは実質漁業者を主体とした管理が継続されると説明されております。今後は、政省令等各論の調整が重要な課題となっておりますが、ぜひとも漁業者が理解し、安心して改革を実践できるものとなるよう注視してまいりたいと存じます。

また、今般、国は、水産改革を進めるための水産関係予算の概算を閣議決定いたしました。今年度補正も併せた予算総額は

三千二百億円となったところであり、前年度予算を大幅に上回る内容となっております。

この中には、補正予算での従来の「広域浜プラン」に基づく、担い手へのリース方式による漁船の導入とは別に、浜の構造改革に必要な漁船・漁具等のリース方式による導入を支援する「水産業成長産業化沿岸地域創出事業」の百億円が本予算で措置されたところとあります。

水産政策の改革の概要や、新たな事業の内容については、追って組合員の皆様にご紹介申し上げますと存じますのでよろしくお祈り申し上げます。

さて、昨年四月以降の本県漁業について申し上げますと、沖合・沿岸ともに総じて資源状況が極度に悪化し、水揚金額は、十二月末日現在で前年同月対比三億一千八百万円減の二十三億七千七百万円に留まっております。

水揚の大幅減少は、経済各事業に大きな影響を及ぼしており、第六次中期経営改善計画の初年度として、事業の推進と諸課題の解決に取り組んだところでありますが、計画水揚の達成が厳しいだけでなく、目標利益の確保についても極



めて厳しい経営内容で推移しております。

今年度も残すところ三カ月足らずとなりましたが、これから本番を迎える寒だら漁をはじめ、すべての漁業の回復に期待するものがあります。

こうした中で、当組合の経済・財務システム変更に合わせて、産地市場改革の具体策として、昨年九月より三市場に十五台のタブレットを導入し、荷受け・セリ・入札等の市場業務全体についてICT化を実現いたしました。

これにより、市場業務の合理化・効率化につながっており、産地市場改革の第一歩になるものと期待しているところであります。

ところで、当組合は平成三十年度を初年度とした向こう三カ年の第六次中期経営改善計画を策定し、組織を挙げて各種事業推進・浜の活性化に取り組んでいるところであります。

当組合が将来にわたり持続できる協同組合組織として事業を継続していくために、漁業の生産基盤である浜の活性化と、生産を担う漁業の担い手・後継者の確保と所得の向上による漁業経営の安定化に取り組んで参る所存であります。

また、組織運営に関しては、常にコンプライアンス意識の高揚に努めるとともに、確実に組合全体の収支を黒字化できるような収支構造の改善を図り、計画的な内部留保による財務基盤の強化に努めて参る所存であります。

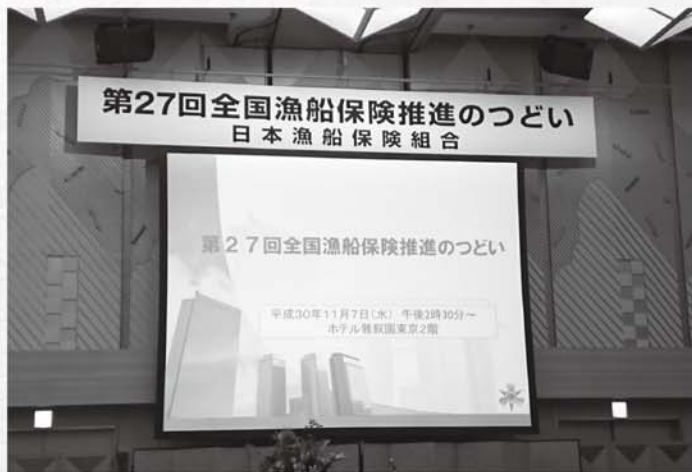
今年の干支にあたる「己亥（つちのとい）」は、まず何より己を正し、内在するエネルギーを利用し、大きく飛躍に向かう年と言われております。

前年度から続く厳しい経営環境での反省を十二分に踏まえ、現行中期経営計画で掲げた基本方針を遵守し、重点実施事項について信念をもって継続して実践していくことが、組合員の皆様から信頼される組織としてあり続けるための唯一の道であると確信するものであります。

最後になりましたが、この一年が豊漁の年となりますよう、災害や海難事故の無い佳き年でありましますよう、また、組合員の皆様、役員・水産関係団体の皆様方並びにご家族の皆様にとりまして幸多き年でありましますようにご祈念申し上げます。

## 第27回

# 全国漁船保険推進のつどい



左から佐藤善隆事業部長 伊原光臣理事

平成30年11月7日、東京都目黒区のホテル雅叙園東京で、「第27回全国漁船保険推進のつどい」が開催され、全国の漁業協同組合の役員と保険組合の役員ら約260人が出席しました。

式典では、はじめに日本漁船保険組合三宅哲夫会長が挨拶され、次いで、同組合顧問の大島理森衆議院議長から「漁船保険制度に対する一層のご支援と、水産業の発展のために現場で力強く前進していただきたい」との挨拶がありました。また、来賓として長谷成人水産庁長官と白須敏朗大日本水産会会長が祝辞を述べられました。

続いて同組合松田稔専務が漁船保険の現状を報告した後、優良漁協などに対する日本漁船保険組合会長特別表彰が行われました。

本県からは、山形県漁業協同組合の伊原光臣理事と佐藤善隆事業部長が出席され、三宅会長より感謝状が贈られました。漁船保険事業に対する長年のご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援・ご指導をお願いいたします。





伊原 光臣

日本漁船保険組合  
山形県支所運営委員長

平成三十一年の新年を迎え、皆様  
に謹んでご挨拶を申し上げます。  
平素は当組合業務に格別のご支  
援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上  
げます。

さて、漁船保険組合は組織統一  
元化から2年目を迎え、組織発足時  
に皆様へお約束しました、「新組織  
設立によって漁業者の負担を増や  
さない」、「保険サービスを充実させ  
る」、「剰余をできるだけ漁業者に還  
元する」という3つの目標につきま  
して、これまでのところは概ね達成  
することができたと考えております。  
これもひとえに、皆様のご協力の賜  
物と衷心より感謝申し上げます。  
現在我が国の漁業を取り巻く環境  
は依然として厳しく、これをうけ漁  
船保険事業も漁船隻数の減少や付保  
漁船の高船齢化など、厳しい状況に  
おかれています。

このような中、今後も漁船保険に  
与えられた役割を的確に果たし、漁  
業者の皆様が安心して暮らす制度で  
あり続けるため、漁業者ファースト  
の立場から漁業経営を支えるセーフ  
ティネットとして保険制度の維持・  
発展に役職員が全力をつくし、業務  
を遂行していく所存です。  
最後になりましたが、本年が皆様に  
とりまして、明るく実り多き年にな  
りますよう祈念いたしまして、新年  
のご挨拶とさせていただきます。



本間 昭志

全国合同漁業共済組合  
山形県事務所運営委員長

新年明けましておめでとうござい  
ます。  
新春にあたり、皆様の本年のご多  
幸を心よりご祈念申し上げます。  
昨年を振り返りますと、記録的な  
不漁や時化などによる出漁不足が年  
間を通して恒常化する中、漁業経営  
のセーフティネットとしての「ぎ  
よさい」と「積立ぶらす」の果たす  
べき役割の重要性を改めて認識する  
ことになりました。

国は、平成29年4月策定の「水産  
基本計画」並びに「農林水産業・地  
域の活力創造プラン」に基づき、適  
切な資源管理と水産業の成長産業化  
の両立を目指して、水産政策の改  
革に着手しております。今回の水産  
政策の改革において行われるこれら  
の改正が、さらにより良い制度の実  
現につながるよう取り組んで参る所  
存であります。

このような状況のもと、「ぎよさ  
い」と「積立ぶらす」は災害対策・  
収入安定対策・担い手対策の一環と  
して漁業経営安定を担う事業と位置  
付けられており、私ども共済団体と  
しても、今年も加入推進に取り組ん  
でまいります。  
新年を迎え、この一年が災害のな  
い年となることを祈念いたしますと  
ともに、万が一の備えとして「ぎよ  
さい」と「積立ぶらす」が漁業経営  
をサポートできるような、事業の普及  
に努めて参りますので、本年も皆様  
の変わらぬご支援・ご協力を賜りま  
すようお願い申し上げます。



本間 昭志

JF共済東北事業本部山形支店  
山形県JF共済推進本部  
本部長

新年おめでとうございます。  
新しい年を迎え、組合員の皆様、  
役職員の皆様のご健勝を心よりお慶  
び申し上げます。  
本県推進本部は、「一人ひとりの笑  
顔のために」協同の原点JF共済新  
3か年計画（平成29年度～31年度）  
を掲げ、チョココー・くらしキャンベ  
ーンを実施しています。今年度はこ  
の3か年計画の中間年度として、「組  
合員・地域住民の暮らしの保障に万  
全を期す」取組みを実践することで、  
組合員一人ひとりが笑顔になれる浜  
作り目指し、主要課題である共済事  
業量の必達に向け、全力で取り組ん  
でいるところであります。

こうした中、主力商品である生命  
共済「チョココー」は昨年7月、がん  
無制限保障や女性特有の病気といっ  
た上乘せ保障、シニアの医療保障を  
さらに手厚くするなどといった商品  
改正を行ないました。また、建物総  
合共済「くらし」は平成29年7月か  
ら風雪害・水害・地震といった自然  
災害による補償を、より拡充した商  
品改正を行ない、生命・財産の保  
障の充実により普及拡大に努めかつ  
目標達成に向けて最大限の努力を凶  
つて参りたいと考えております。

最後になりましたが、平成31年が皆  
様方にとって、新しい幕開けになり  
ますとともに、なお一層のご健勝と  
ご活躍を心よりご祈念申し上げます。  
新年のご挨拶とさせていただきます。



沼澤 弘幸

山形県漁業信用基金協会  
理事長

新年明けましておめでとうござい  
ます。  
本協会の業務につきましては、日  
ごろから格別の御支援、御協力をい  
ただき、厚くお礼申し上げます。  
本協会は、漁業者の皆様が融資を  
受ける際、円滑な資金調達を行える  
よう、その債務保証業務を行ってお  
ります。漁業者の皆様が立場に立ち  
競争力強化に向けた支援につながる  
よう業務に取り組んでまいります。

本協会を含む十八の地方協会は、  
今年四月一日に全国協会と合併する  
こととなっており、これにより、  
協会の財務基盤の安定化が図られる  
とともに、保証料率の引き下げや保  
証限度額の拡大など、漁業者にとつ  
ても多くのメリットが期待されます。  
合併後は全国漁業信用基金協会の山  
形支所という位置付けに変わります  
が、引き続き漁業経営に必要な資金  
の円滑な調達に資するよう努めてま  
いりますので、ぜひ御利用くださ  
いますようお願い申し上げます。

この一年の大漁と漁業関係者の皆  
様の御健勝を祈念いたしまして、新  
年の挨拶とさせていただきます。



# 平成31年度水産業振興に

## 関する要望書を提出

平成30年12月19日、山形県庁において、水産業振興に関する要望書を吉村知事に提出しました。

当日は知事不在の為本間組合長から若松副知事へ要望書が手渡されました。

若松副知事は農林水産部長を始め県行政の要職を歴任されており、庄内浜が抱える問題や将来性については理解が深く具体的な方策、課題について話し合いがされ県行政の協力を惜しまない旨の回答がありました。

当組合では、庄内浜全域の漁業者が連携し「広域浜プラン」の実践により漁業所得の向上に取り組んでいるところであり、持続できる水産業を構築するため、漁業経営安定対策を最重要課題と位置づけ全力で取り組んでいます。

特に、水産卸売市場の活性化対策や漁港・港湾施設の整備充実については組合内でも勉強会を立ち上げ検討が始まりました。

しかしながら、漁業環境の悪化はかつてないほど著しく進展しており、当組合の自助努力だけでは漁業・漁村の活性化および水産業の再生は困難な状況となっています。

このようなことから、山形県をはじめ、酒田市、鶴岡市、遊佐町に対し平成31年度の予算作成にあたり要望事項の具体化、実現のために要望書を提出し支援を要請しております。

### 要望事項の骨子

1. 庄内浜水産物の産地魚価向上・魚食普及・消費拡大について
2. 水産物卸売市場の活性化対策について
3. 「豊かな海づくり」の実現に向けた取組みの推進について
4. 漁業の担い手の育成・確保に対する支援の充実について
5. 漁業構造改革の推進について
6. 漁港・港湾施設の整備充実について
7. 鶴岡市鼠ヶ関港の整備充実について（港湾関係個別要望）
8. 鶴岡市由良港における台車式巻揚げ施設整備のための船揚げ場回収整備について（漁港関係個別要望）



庄内総合支庁長



山形県副知事



鶴岡市長



遊佐町長



酒田市長

## 理事会情報

平成30年度 第6回 理事会議案  
開催日…平成30年12月5日(水)  
場 所…由良温泉 ホテル八乙女

### 【協議事項】

- 1 平成30年度上半期監事監査の結果について
- 2 JFマリンバンク早期指導先の選定による改善計画の策定について
- 3 平成30年度通期における計画達成に向けた事業展開と年度見込について
- 4 さくらます刺網漁業の承認について
- 5 年末年始の取扱いについて
- 6 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について

### 【報告事項】

- 1 平成30年10月末現在収支状況について
- 2 我が国漁業の将来展望を切り拓く革新的な政策の確立を求める全国漁民代表者集会について
- 3 平成30年度JFマリンバンクモニタリングの結果について
- 4 第38正徳丸の衝突事故について(株)ジャックスとの「債務保証付きローン」包括保証契約書の再締結について
- 5 組合員の加入・脱退・減資について
- 6 由良市場前可動式テントの設置について
- 7 その他
- 8 その他





# 少年

# 年男さん大いに語る!

- プロフィール
- ①自分にとって過去1年間良い事ベスト1
  - ②亥年にかける夢
  - ③漁協に期待するポイント（水産業全体でも良い）

昭和10年  
生まれ



加茂出張所  
佐藤 豊吉

中学を出てすぐに父親の漁船、長宝丸に乗船し漁業に従事。若い頃は15年間程、春から夏にかけてアラスカヘサケ・マスを獲りに行き、地元へ戻ると長宝丸で吾智網や刺網漁をしていた。

現在は長宝丸を受け継ぎ、主に刺網漁を営んでいる。

①一番と聞かれても特に何も無いが、息子が家にもついてもだめだからと気にかけてくれ、休みになると北は吹浦、南は鼠ヶ関へとドライブに連れ出してくれるのが楽しみ。1年間夫婦ともに健康で過ごせたことが良かった。

②昨年はとにかく時化続きで、ひと月に2〜3日しか出漁できないこともあった。今年は少しでも多く漁に出られるように願っている。

③頑張ってきた魚なので少しでも高値で販売して頂きたい。また、資源の減少が著しく、水揚げも容易でない今の状況では、若い人に漁業を勧めることも出来ない。難しいとは思いますが現状が少しでも好転するよう、漁協でも対策を考えて欲しい。

昭和34年  
生まれ



飛島支所  
鈴木 徳正

第十八正徳丸(4.8トン)で刺網、一本釣漁業を営む。「これからタラ・サメ刺網漁の最盛期を迎え忙しくなるがいつものように頑張りたい」とは本人談。漁協総代、漁業者集落副代表、地区では漁業者代表を勤めている。

①今年もよろしく願います。

②地区で事故もなく安全操業ができ、普通に過ごせたことが何よりです。

③昨年はどの魚種も不漁でしたので、漁獲向上を願います。また、地球温暖化の影響などによる自然災害など有りませんように。

④漁業者の高齢化、減少など活気がなくなる一方です。私達は大変不便な所に住んでいます。またここで漁業を続けるつもりです。漁協、行政、漁業者が現実と向き合いこれからは一体となりましょう。

昭和46年  
生まれ



さかた総合市場  
阿部 司

山形県立酒田工業高等学校を卒業後、漁師だった父の強い薦めもあって兼業漁師となり、現在は第十八萬代丸で主に採貝藻漁を営んでいる。

①2018年は例年に比べると水揚量が多くて、漁師としてとても充実した年となりました。

②今年の仕事の幅を広げようと考えています。干支である亥にも負けないくらい勇猛果敢に挑戦していきたいと思えます。

③私たちが漁師は海に出る以上、命を懸けて水産物をとって来ます。その中でも専業漁師の方々はその売上で生活しています。魚介類が売れにくい現状ではあります。仲買人には負けないように強気で販売してもらいたい。また、日本全体の高齢化が進む中、漁師の若い人の参入が少ないと感じています。今の漁協には若い人が参入し難い何かがあるのだと思います。若い人が漁師を目指せるように漁協の形態を見直して改善してもらいたいです。

充実補償のぎよさいとがらす



昭和46年  
生まれ



念珠関総括支所  
佐藤 一幸

高校卒業後、大工となり湯温海にて住み込みで働いたのち、鼠ヶ関の漁船「恵徳丸」に乗船。乗組員として約12年間底曳網漁業に従事している。

①底曳網漁が休漁となる7・8月中に、所有船「幸成丸」で遊漁船業を営み、多くの方に乗船してもらい、魚が釣れて喜ばれたこと。

②去年は底曳網漁業があまり良くなかった。今年はその年なので、亥のように困難に立ち向かい、力強い水揚げを期待したい。また、亥は無病息災の象徴ということと健康第一で一年を過ごしたい。

③漁獲量の減少や魚価の低迷で底曳網漁業は厳しい状況となっている。少ない職員で大変だと思うが、市場の競争力アップと内陸などへの販路拡大をお願いしたい。

昭和58年  
生まれ



吹浦支所  
栄田 俊輔

県立加茂水産高校卒業後、家業である漁船「廣栄丸」に乗船し、師である父と共に底曳網漁業に従事している。底曳網漁が休漁期間中は潜水漁業を営み、牡蠣、鮑、ナマコ等採取して家計の糧としている。「近年特にカキ漁が不振で大変困っている。」とは本人談。

①明けましておめでとうございます。過去一年、妻と三姉妹共に特別何事もなく健康で過ごせたことが一番でした。なお、今年も末娘が小学校「デビュー」です。

②今年も家族全員が健康で過ごせるように、漁業に関しては近年漁獲量の減少と価格の低迷が懸念されますが、安定した漁獲と安全操業に心がけ資源の増大を願うばかりです。

③近年、漁協職員も若手が入組ってきて頼もしいと思いますが、オールマイティな若手の育成を期待し、漁協の活性化と併せて漁業者の生活基盤である沿岸漁業の衰退化を防ぎ、益々の発展を願います。

昭和58年  
生まれ



温海出張所  
本間 仁

平成14年に高校卒業後、鼠ヶ関の底曳船に乗船。平成23年に県や市の事業助成を受け、着火船を取得し、はえなわ漁を営むサーファー（笑）である。

①昨年の良いことを聞かれても、1年間ずーっと不漁だった事しか思い浮かびません。強いて挙げれば、たった1日で終わったマグロ漁に乗り遅れず出漁し、大漁したことぐらいです。

②亥年に限ったことではありませんが、大漁が夢で終わらず現実になれば。また、昨年は息子にアクシデントがあったので、今年も家族皆、元気に笑って大晦日を迎えられる年になることが一番です。

③魚を食べる人が減っていくようでは魚価は上がらないと思います。魚食普及活動を他機関と共に、より強力に展開して欲しいです。また、沖も磯も年々資源が減っていると感じます。温暖化が要因の一つだとすれば、防げる人災です。漁協も防止活動に積極的に参加すべきだと思えます。最後になりますが、マグロの漁獲枠を是非増やして欲しいです。

昭和58年  
生まれ



由良総括支所  
富樫 康明

地元鼠ヶ関の底曳船に乗船。その後由良に生活を移し、底曳船「富芳丸」に8年間乗船。現在は底曳船「輝修丸」にて日々奮闘中。今年から磯見漁にチャレンジします。

①新年明けましておめでとうございます。昨年、多方面の方々のお力添えにより、短期間ではありますが磯見漁を学べたことです。

②家内安全。無病息災。そして、猪突猛進！

③燃油の高騰、魚価の低迷が続く大変厳しい現状です。職員の皆様も毎日忙しく大変かと思いますが、少しでも改善できるよう努力して頂きたいです。

昭和58年  
生まれ



豊浦支所  
伊関 領平

羽黒高校卒業後、家業である定置網漁業に従事する為、石川県ホクモウ（鶴門前事業所）にて3年間の修行を受け定置網漁業の基礎を学び、父が船頭の（前）仁三郎堅苦沢定置（第十一仁豊丸）に乗船し現在に至る。昨年「浜の担い手漁船リース事業」を活用し、新造船嶺神丸（りょうじんまる）が無事完成。進水、稼働している。

①「浜の担い手漁船リース事業」を活用させて頂き、お陰様で新造船が無事完成、進水、稼働したことです。この場をお借りして、漁協をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

また、乗組員の若い方達が成長し頼もしく感じています。また、長年の定置網漁業の経験を持つ得難い人材が乗船してくれた事です。

②新造船の装備を遺憾なく発揮し、今現在の装備と技術を併用して水揚げ量に左右されない徹底的な鮮度管理を実現させる事です。操業時の安全性を高めると共に、操業日数の増加を図り、定置網漁業の新しい操業形態の構築と、より安定した経営体が構築できるように精進して参ります。

③日頃より多岐に渡って大変お世話になり、感謝申し上げます。市場（競売）を預かる漁協が強い主導権を持つ事を期待しています。また漁協、仲買業者、漁業者間の連携を強化し、良いところは伸ばし、悪いところは改善し、三位一体で山形県の漁獲物をより質の高い物へと昇華するようなシステムの構築を期待しています。

ぎよさいでしっかり、ぷらすで安心



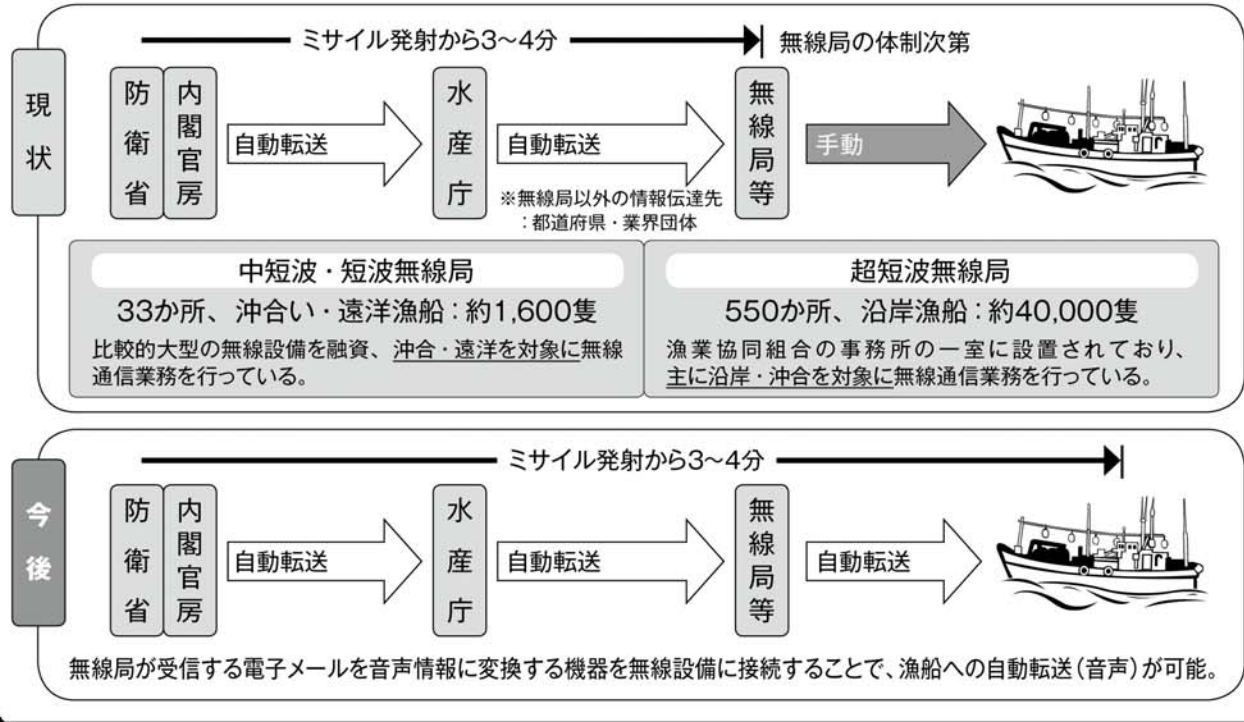
# 漁業無線局の更新(漁業安全情報伝達迅速化事業の実施)について

北朝鮮のミサイル発射等の情報伝達を迅速に行うことを目的に、山形県漁協が開設している全ての1ワット海岸局の更新を行います。これは、水産庁事業である漁業安全情報伝達迅速化事業を利用して行うものです。

現状では、ミサイル等の発射時における情報伝達や安全確認は、水産庁が発信するメールを受けた者が、組合員の携帯電話や衛星電話に連絡する、いわゆる手動による作業でした。

今後は、水産庁のメールを海岸局が受信し、そのメールを無線機が音声に変換して読み上げ、船舶局に連絡する仕組みになります。

工事は2月中旬から下旬を予定しており、1つの海岸局の工事期間は1~2日です。工事中の3~4時間程度、海岸局との交信ができなくなる時間が発生します。その際は支所を通じてお知らせしますので、よろしくお願いします。



## 平成30年度補正予算および平成31年度水産関係予算が成立します



平成30年度補正予算および平成31年度水産関係予算が12月に概算決定され、今後の国会にて正式決定される見込みです。

平成30年度補正予算として、「水産業競争力強化漁船緊急支援事業(漁船リース事業)」は200億円、「競争力強化型機器等導入緊急対策事業」は56億円、また、平成31年度当初予算として、漁船・漁具等のリース方式による導入を支援する「水産業成長産業化沿岸地域創出事業(新規事業)」が100億円予算措置されます。

事業の内容・要件・応募期間等の詳細は不明ですが、競争力強化型機器等導入緊急対策事業については2月上旬以降、漁船リース事業と水産業成長産業化沿岸地域創出事業については3月下旬には明らかになる予定です、情報が次第にお知らせします。

## サケふ化事業者と海面漁業者の協力体制の構築に向けて

12月17日にサケ事業の協力体制に関する検討会が由良コミュニティセンターで開催されました。この検討会は、ふ化事業者と海面漁業者の両者が意見交換し、サケ資源を維持増大していくためにどのように協力していけるかを話し合うことを目的としています。

今回の検討会では、市場価値の高い銀毛(ギンケ)資源造成に向けた実証事業が今年度から始まることや、各ふ化場の老朽化の状況について情報提供されるとともに、海面漁業者の山形県鮭人工孵化事業連合会への協力金について話し合いが行われました。

今後もふ化事業者と海面漁業者が互いに理解し、協力できるように、継続して検討会を開催していきます。



庄内総合支庁産業経済部水産振興課 技師 榎 宗市郎





# 行ってきました！ 出前教室！

「食育」といって、葉をよく耳にします。小さいうちから様々な経験を通し、「食」に関する知識やパランスの良い健全な食生活の実践力を育もうという試みの事です。今回は食育につながる漁協職員による魚食普及活動をご紹介します。

11月2日は酒田市北新橋保育園へ、12月5日は同市の小鳩保育園へ西村参事が出向き、2〜5歳の園児約140名へ向けて「食育教室」を行いました。

酒田市はいかのまちとして商業的に盛んですが、地元の小さい子供たちが生のスルメイカに触れる機会は残念なことに非常に少なく、スルメイカを不思議そうな表情でこわごわ触る様子が印象的でした。実施した二つの保育園からは「魚の説明が子供たちにとても分かりやすかった。」「試食した魚(サケ・スルメイカ)が美味しかった。」「うれしい声が届き、好評をいただいたようです。」

また、11月14日には大淵信用共済課長が、酒田市鳥海小学校の5年生児童を対象に「山形県の水産業」の出前授業を行いました。この授業は、酒田市教育委員会が実施する「地域人材交流講座」の一環として、社会科の時間に行われており、今回で6年目となります。「授業終了後には、「将来漁業をしたいです！」と発言する児童もおり心強く感じています。授業を通じて、地元への親しみがあり愛される水産業になれば」と大淵信用共済課長は語ります。今後も、魚食普及へ向けた取り組みを推進していきたいと思ひます。

JF マリンバンク JF

山形県の水産業について

庄内浜は「食材の宝庫」と言われています。自然とともに歩む産業の特徴や役割をお話しします。



## 何でも魚ツチング



### 『サルパ』 不思議な生物

今からおおよそ3年前の平成27年の秋、冬にかけて、底びき網漁船に多く入網し、漁業被害をもたらしたオオサルパのことを憶えていらっしゃるでしょうか(写真)。

このとき、水産試験場では、網に入った個体をいただき、海水を張った容器に入れて冷蔵庫の中(海底の温度環境)におき、どのくらいしたらなくなるかを観察する実験をしました。が、なかなか溶けず1か月以上形を保っていました。今期は、平成27年ほどではありませんが、底びき網禁漁明け9月から出現がみられ、11月下旬にエビ曳漁場で破網の被害が発生しています。

このサルパの生態や大量出現について、国の研究機関(日本海区水産研究所)がとりまとめた調査結果も併せて紹介したいと思います。

サルパは、ゼラチン質の透明な体をしていることからクラゲの仲間(刺胞動物)と思われるかもしれ



平成30年10月16日  
オオサルパ(池田亀五郎氏 提供)

れませんが、ホヤの仲間(尾索動物)に属します。サルパの餌は植物プランクトンで、前から海水を取り込み、粘液でできた濾過ネットで植物プランクトンをこしとって後から外へ出しています。

増殖の仕方ともユニークであり、クローンを作って増える世代(無性生殖)もあり、蛇のように長く連なった姿(連鎖個体)にもなります。無性生殖は短期間に増殖することが可能であるため、植物プランクトンの増加といった好条件があると大量出現という事態が起こるわけです。

平成27年のオオサルパの大量出現のときは、沖合の広い海域で秋の植物プランクトンの増加(秋季ブルーム)がいつもより早い10月に起こっていたことが人工衛星の画像から確かめられており、餌環境がよくなったためサルパの生き残りがよく、それが西から東へ流されて水温の低下や餌の減少に伴い活力が低下して漁場に沈んで漁業被害をもたらしたものと考えられています(日本海区水産研究所)。

大量出現して海底に沈むと、底びき網漁業に被害をもたらす厄介者のサルパですが、もしかしたらズワイガニやホッコクアカエビなどの貴重な餌になっているかもしれません。新「最上丸」には水中カメラが装備されますので、今後はそのあたりも調査できればと思ひています。

山形県水産試験場 海洋資源調査部長  
高澤 俊秀





新年明けましておめでとうございます。本年も海と渚の環境美化へのご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

平成30年も多くの団体が清掃活動をしてくださいました。ご協力いただいた皆様、お疲れ様でした。なお、予算の都合上、平成30年度の助成申請の受付は終了させていただきます。

来年度については、活動内容や助成申請額等、事前に事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

団体名	活動日	場所	参加人数
小波渡漁民会	H30.3.20	小波渡港	9名
堅苔沢漁業会	H30.4.17	堅苔沢港	52名
由良漁港漁場整備促進協会	H30.4.21	由良港	50名
油戸住民会	H30.7.7	油戸海岸	80名
酒田小型船舶安全協会	H30.8.19	第1・第2酒田PBS	113名
陽だまりの会	H30.9.8	西浜海岸	13名
山形県漁協女性部	H30.10.16	宮海海水浴場・北港	40名

未来につなげよう  
 青い海と  
 美しい渚

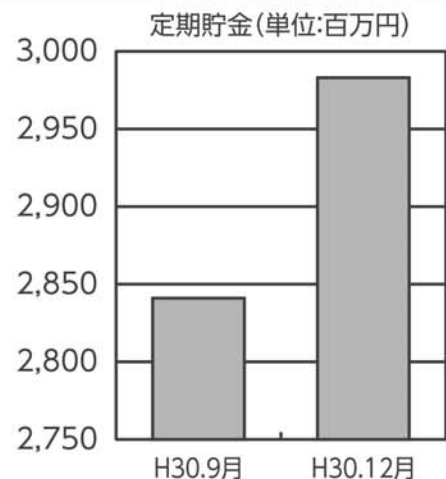
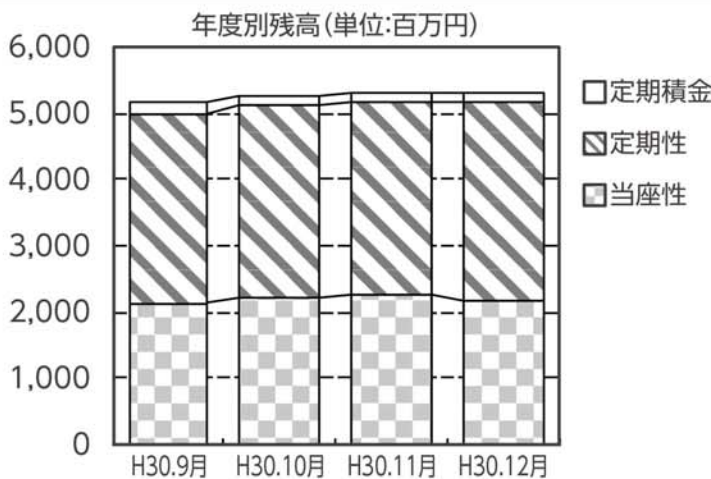
お問い合わせ先  
 庄内総合支庁 水産振興課内  
 山形県海と渚環境美化推進協会  
 事務局 担当：今野  
 TEL 0234-24-6041

## 全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動

# ご協力ありがとうございました!!

当組合では、「全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動」を平成30年10月より3ヶ月間に渡って展開してまいりました。期間中はお客様をはじめ、総代、組合員、漁協女性部ならびに関係団体の皆様からは格別なご協力を賜わり、誠にありがとうございました。

定期貯金を中心に推進し、平成30年9月末より136百万円増加で終了いたしました。



今後、年度末にも年度末貯金推進運動を展開してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。





# 水揚情報

平成30年12月31日現在 (単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
11月末迄水揚累計		2,024,650	64,376	53,035	1,056,631	126,380	201,570	132,514	30,537	359,607
月間水揚	県内船水揚	178,328	8,299	2,669	61,249	10,324	33,497	15,501	1,249	45,540
	県外船水揚	174,308	0	0	174,308	0	0	0	0	0
	合計	<b>352,636</b>	<b>8,299</b>	<b>2,669</b>	<b>235,557</b>	<b>10,324</b>	<b>33,497</b>	<b>15,501</b>	<b>1,249</b>	<b>45,540</b>
前年同月水揚		257,701	8,282	3,033	160,515	4,142	24,469	11,786	899	44,575
本年度水揚	県内船水揚	1,660,721	72,675	55,704	615,207	136,704	233,260	148,015	31,786	367,370
	県外船水揚	716,565	0	0	676,981	0	1,807	0	0	37,777
	合計	<b>2,377,286</b>	<b>72,675</b>	<b>55,704</b>	<b>1,292,188</b>	<b>136,704</b>	<b>235,067</b>	<b>148,015</b>	<b>31,786</b>	<b>405,147</b>
前年度水揚累計		2,695,587	85,295	81,513	1,487,749	141,814	276,719	176,051	35,578	410,868
増減		-318,301	-12,620	-25,809	-195,561	-5,110	-41,652	-28,036	-3,792	-5,721
本年度水揚計画		2,940,000	110,000	100,000	1,393,000	146,000	337,000	203,000	63,000	588,000
達成率		80.8%	66.0%	55.7%	92.7%	93.6%	69.7%	72.9%	50.4%	68.9%



## 今あがっている魚 - 12月のベストテン -

前年対比 増ノ減ノ変らずノ

水揚金額 (千円)			<p>月間MVP</p>	漁獲量 (kg)			<p>月間MVP</p>		
1	するめいか	210,642		ノ	1	するめいか		313,230	ノ
2	はたはた	24,404		ノ	2	はたはた		44,096	ノ
3	た い	21,826		ノ	3	さ け		41,853	ノ
4	さ け	21,336		ノ	4	た い		29,327	ノ
5	ほっこくあかえび	15,447		ノ	5	べにずわい		16,290	ノ
6	ずわいがに	9,791		ノ	6	ほっこくあかえび		13,320	ノ
7	ぶり・いなだ	6,083		ノ	7	た ら		7,648	ノ
8	あ わ び	4,707		ノ	8	あ じ		3,159	ノ
9	ひ ら め	4,332		ノ	9	ほ っ け		3,058	ノ
10	た ら	2,840		ノ	10	ひ ら め		2,980	ノ

◎「すいさん山形」はこれからは編集委員丸となつて地域の皆様のお役に立てる紙面づくりを心がけていきます。今後充実した広報誌作りを努めて参りますので、引き続き皆様からのご意見・情報をご提供いただきますようお願い致します。

◎平成31年は己亥(つちのこ)です。己(つちのこ)は草木が成長を終えて姿が整った状態を表し、亥(い)は草や花が枯れ落ちて植物の生命が引き継がれて種の中にエネルギーがこもっている状態を表すそうです。内なる充実を図り、次のステージの準備をする年と言えるのではないのでしょうか。また、予期せぬ事変・災害に備えながら足元を固め、しっかりとアンテナを張って正確な情報を得ながら基礎体力を強化することも重要です。

◎天皇陛下のご退位まで4ヶ月となり、「平成」という時代が幕を閉じようとしています。陛下と水産業の縁も大きなものがあり、「全国豊かな海づくり大会」は三大行幸啓のひとつに数えられ、本県でも平成28年に天皇・皇后陛下ご臨席のもと開催されました。平成31年、5月に改元が行なわれ新しい時代が幕を開けます。本年が水産業に携わる全ての皆様にとつて幸多き二年となりますよう心より祈念申し上げます。

編集  
後記

JF協水連東北事業本部 山形支店

主任 坂本 淳



# 酒田海上保安部長表彰

平成30年11月30日(金)海難救助に対する功績に対し、酒田海上保安部長より感謝状が贈られました。

平成30年10月9日山形県鶴岡市三瀬漁港沖において、揚網作業をしていた漁船船長が、うねりによる船体動揺によって海中転落しました。同船長は船上に上がろうとしましたが、上がる事ができず、流されない様に船べりにつかまりながら救助を待つことになりました。

このとき、三瀬沿岸を自家用車で走行していた由良救難所救助員が、海上に無人の小型船が浮いているところを発見しました。知人を通じて水難救済会豊浦救難所の鈴木所長に状況を伝えると、同救難所救助員と直ちに現場へ向け出港しました。

現場で船べりに掴まり救助を待つ漁船船長を発見し、同船に救助員が移乗し船長を船内に引揚げ、救助しました。船長は、搬送先の病院で低体温症と診断されましたが、命に別状はなく無事退院しています。

新年を迎え、みなさん新たな気持ちでお過ごしのことと思います。より一層気を引き締め、平成31年度は事故ゼロを目指して安全な操業を心がけましょう。

新年を迎え、みなさん新たな気持ちでお過ごしのことと思います。より一層気を引き締め、平成31年度は事故ゼロを目指して安全な操業を心がけましょう。



左から豊浦救難所長 鈴木重作さん、相澤部長、豊浦救難所救助員 鈴木重慶さん

## 第6回Fish-1グランプリ



惜しくも

### 準グランプリ受賞!

11月25日(日)、日比谷公園にて「第6回Fish-1グランプリ」が開催されました。3年連続3回目の参加となった今回、山形県漁協は「庄内浜紅えび丼」を出品しました。紅えびというのは、ホッコクアカエビ(甘エビ)の庄内地方での呼び名であり、女性の唇に紅をさした様に似ていることからそう呼ばれています。非常に強い甘味が特徴で口に入れるととろーりとろけるようなおいしさから、庄内でも人気の高い魚種です。さらに、エビと相性抜群のアボガド、近年美容効果等で注目度が高いスーパーフード、「酒田市飛鳥産シャキとろギバサ」を添えて、女性人気を独り占め!であろう丼ぶりが完成しました。



昨年、僅差で優勝を逃した苦い思い出を胸に、今回は絶対グランプリを勝ち取るぞ!と勇み足で向かったものの、結果は惜しくも準グランプリ。今回グランプリを受賞したのは、JF銚子「銚子つりきんめ煮炙り丼」でした。準グランプリとはいえ、今回も沢山のお客様が長蛇の列に並んでくださり、「おいしい!」の言葉を頂き、一番に完売できたことは紛れもない事実であり、山形の美味しい魅力を大いに発信できたのではないかと思います。

今回、御協力を頂きました全漁連をはじめ関係者の皆様に感謝いたします。



由良「浜のかあちゃん直伝」

## 浜のごっつお

### 冊子発行

=明日も明後日も…  
永遠に続く浜のさざめき=



小さな漁村に生まれ育った人々は、昔から変わらぬ風景や文化の息づく地に誇りと愛着を持っています。

魚図鑑・浜料理「浜のごっつお」は由良の浜のかあちゃん達でつくる「ゆらまच्छ海鮮レディース」がプロデュースし、構想から5年の月日をかけ、ようやく発行となりました。約80種類の魚介類や海藻を、浜のかあちゃん直伝のダイナミック且つ、シンプルに調理した料理がふんだんに盛り込まれている一冊となっております。制作・撮影秘話は聞くも涙、語るも涙、「おぼ!」。外国人向けに英語の翻訳を記載しており、生態や漁法も紹介しています。さらに、浜の食卓・祭と行事食・浜のアバ・漁村の一日・番屋汁・景観などロマンチックでドラマチックな由良の漁村文化も満載です。大海原から生まれる奇跡のようなストーリーで、今年のベストセラー確定間違いなしの一冊です。手に入れないと確実に後悔しますよ〜。注)文中の「おぼ!」とは驚いた時に思わず出る由良の方言です。

冊子は全編カラー、B5判72P、1冊2,000円  
問合せ：和田光子代表 (0235-73-2218)